

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	文化財保護事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	文化観光 局	文化 部	文化財 課	評価責任者(課長名)	鹿野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	昭和 40 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	文化財保護法・大阪府文化財保護条例・堺市文化財保護条例			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	<p>市内所在の指定文化財を適切に保存・活用するため、本市所有物件の管理のほか、文化財所有者(団体)への保存活動に対する国・府の補助制度も活用しながら文化財保護のための事業として実施している。</p> <p>平成29年度に事務事業を見直し、文化庁の文化財保存事業費補助金を得て調査等を実施する「埋蔵文化財緊急発掘」の事務事業を本事業に統合し、令和元年度より事業内容を整理し効果を高めるために「収蔵資料公開活用事業」を統合した。</p>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 ( 文化財課分室 ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 文化財所有者・文化財保存団体 )		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内所在の指定文化財および埋蔵文化財		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定文化財の恒久的な保存・保護・育成及び活用</li> <li>個人住宅、兼用住宅の建設にかかる埋蔵文化財調査費用負担の軽減</li> <li>出土遺物の恒久的な保存</li> </ul>		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市所有の文化財については直接実施し、本市所有以外の指定文化財の所有者・団体については補助金を交付する。</li> <li>埋蔵文化財緊急発掘調査により遺跡の状況を確認し記録する。</li> <li>陶器城跡の市史跡指定へ向けた測量と範囲確認調査を実施する。</li> <li>出土遺物の化学的な保存処理を行う。</li> </ul>		
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
		委託業者、文化財所有者・文化財保存団体			

Ⅲ. 投入量

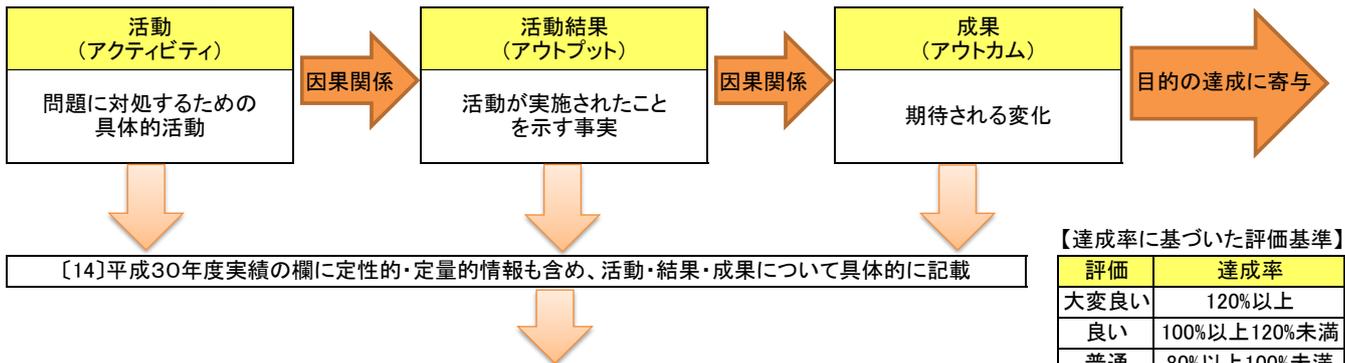
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	19,128	16,937	10,830	18,439	
	主な事業費内訳	補助金	千円	15,560	2,658	4,670	2,903
		委託料	千円	3,353	14,069	5,649	13,935
		需用費等	千円	146	141	262	539
		賃金	千円	69	69	249	1,062
		国・府支出金	千円	1,079	2,755	1,541	1,156
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他( 寄附金 )	千円	300			
		一般財源	千円	17,749	14,182	9,289	17,283
	12 人件費 (b)	千円	10,660	13,530	15,990	15,795	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	29,788	30,467	26,820	34,234		

# 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	文化財保護事業	シート番号	08-49
-------	---------	-------	-------

## ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

### ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>指定文化財の所有者が負担した防災設備等の管理や保存工事など16件について費用を補助した。また、市内の埋蔵文化財包蔵地で行われた個人住宅等建設工事に伴い、遺跡の内容確認調査を16件実施したほか、陶器城跡の市史跡指定へ向けた測量と範囲確認調査を実施した。そして、重要文化財指定の陶邑窯跡群出土須恵器7点を保存修理した。</p> <p>これらの結果、指定文化財の保存を図り適切な管理を維持することができるとともに、公開活用の機会を確保することができた。また、埋蔵文化財の内容確認調査に伴い埋没保存や指定へ向け市内遺跡の一層の保護につながった。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		適切に保存保護・公開が可能となった文化財の件数	件	目標値	17	16	18	16
				実績値	15	16	18	
				達成率	88%	100%	100%	
	評価	普通	良い	良い				
	算出方法・設定根拠など		補助事業実施予定数(目標)に対する実際の実施件数(実績)					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		埋蔵文化財確認調査件数	件	目標値	16	17	17	16
				実績値	21	20	16	
				達成率	131%	118%	94%	
	評価	大変良い	良い	普通				
	算出方法・設定根拠など		補助金申請時に想定された件数(目標)に対する実際の調査件数(実績)					

### 業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>・文化財の管理・保存修理・育成に対する補助金事業は、その対象の状況を正確に把握したうえで、所有者や保存団体との間で緊密に連絡調整を行い、補助対象となる文化財を選定し、計画的に実施している。本年度は文化財の所有者との調整を十分に図ることで目標数を達成した。今後も引き続き文化財や所有者の状況を詳細に把握し達成率の確保に努めたい。</p> <p>・埋蔵文化財確認調査では、事業主の協力を得ることができ、委託業者と緊密な調整により調査終了までの工程を順調に進めることができた。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。